

NO.	62	講座形式	体験型			
講座名	竹をもっともっと暮らしに/竹で遊び道具を作ろう					
分野	メインの分野	地球温暖化防止	リサイクル・廃棄物	生物多様性・自然保護	森林保全・緑化	大気環境保全
	環境全般					
	水環境保全	化学物質対策	環境全般	地域環境管理	消費・生活	その他
対象者	幼稚園・保育園	小学校(低学年)	小学校(高学年)	中学生	高校生	大学生
	○	○	○	○		
	一般	企業・事業所	対象 その他			
参加可能人数	10名～30名	実施時間	90分			
目的	竹の遊び道具を使うことで自然素材と自然環境とのかかわりを伝える					
プログラム内容	<p>【導入】</p> <ol style="list-style-type: none"> 竹の文化と環境文化について 竹の文化(遊び道具)の事例紹介 <p>【用具を作る】</p> <ol style="list-style-type: none"> 竹の遊び道具(エコ扇、カエルの笛、ぶんぶんごま、エコ扇子など)を作る <p>【まとめ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 竹を日常生活に取り入れよう 竹の優れたところを知ろう 道具の使い方と扱う知識を知ろう 					
申込者側で用意していただくもの	前もって調整いたします			申込者の材料費等負担	～100円	
条件・注意点						
代表講師氏名	馬場 勇治					
代表講師経歴	<p>1940年生まれ</p> <p>■資格：竹加工技術、長谷昭二郎先生、近藤興斎先生に師事。</p> <p>■専門分野：地球温暖化防止、里山保全、竹林整備、自然循環材(竹・木)や家庭ごみを使った用具づくり</p> <p>■活動内容：兵庫県地球温暖化防止活動推進員、ひょうご出前環境教室講師、すまこまちの会会員</p>					
その他のスタッフ	村上 繁弘、国生 文恵、松下 純子、いしずみ 悦子、松浦 由美子、宮崎 敏子、中村 文子					
メッセージ	自然循環につながる竹や木を使って生活用具を楽しみながら作る。これらの用具を生活に取り入れることで環境保全に役立つことをひろめたい。					